



LD親の会「けやき」機関紙

第92号

2010年10月発行

発行者・代表 三輪 覚子  
けやきホームページ URL

〒198-0014 東京都青梅市大門 1-787-8  
<http://www.ne.jp/asahi/hp/keyaki/>

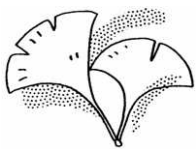
## 秋に思うこと

すっかり秋らしくなってきました。会員の皆様、いかがお過ごしですか？

実は私は(私事で恐縮ですが)、愛猫の急死にやや気落ちしている今日この頃なのです。7歳のオスで、元気と丈夫が取り得の猫でした。好きな遊びには夢中になり、誰よりも自己アピールして食べ物をおねだりする。反面知らない人には臆病で、部屋の隅に隠れてしまう。また、赤ちゃんのような仕草をして、他のメス猫たちよりりっぱな体格をしていながら幼稚な(そこがかわいい・・・)ので、つつい甘やかして育ててしまった。動物に対しても発達障害という言葉があてはまるなら、まさにその通りの猫だったと思います。だからこそ余計に肩入れしていて、文字通りの猫かわいがり状態だったのです。

火葬の手続きをしてお別れした日、自宅で静かにしていたいという気持ちでしたが、午後から部会の予定がありましたので出かけました。実は、部会の中で「猫が・・・」とつつい漏らしてしまいました。すると、「うちの猫の時は・・・」「うちの犬もこの先・・・」と皆様が同情してくださり、話をしている内に落ち込んでいた気持ちが少し晴れたように感じてきました。やっぱり部会に参加してよかった。

教育と就労の両部会の活動は、先輩・後輩の立場を越えて、自分の子どもの現状や環境の近いところで共通の話題を取り上げることのできる場所です。私の場合は就労部会で、就職するまでの困難な時を支えていただいたり、障害基礎年金受給の為のノウハウを教えていただいたりとずい分助けてもらい、また今回はペットロス症候群にならない気力まで与えていただきました。



せっかく会員になられても、“会への参加”ということが、日々の生活の中では優先順位の低いものとなっている方が多いように感じられ残念な気がします。「親の会」の様々な活動は、子どもの為だけでなく自分の為でもあると思いますので、例会や部会に奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

年度も後半になりました。また一緒に頑張っていきましょう！

三輪

## 7月・例会報告

7月24日(土)の例会は、  
小金井市障害者就労支援センター・就労支援コーディネーターの  
ポーバル聡美氏をお招きして『ヘルプシートについて学ぼう』  
という内容で勉強会を行ないました。

ヘルプシートとは「本人のできないことや困難をサポートする」ものです。家庭での生活時間を確認する日課表やお手伝いの振り返り用紙、また、学校の先生に指導方法を伝えたいときや職場や就労支援施設等で理解の促進や配慮のお願いをしたいときなどに活用できます。

ポーバル氏のお話を伺い、お子さんの年齢別グループで親同士が意見交換をするうちに、いろいろな場面で、本人をサポートするために活用できるということがわかってきました。作成するときのポイントは、どんな場面で困っているのかを本人から正確に聞き取り、伝えたい相手に伝わりやすい適切な言葉を使い、本人自身が使えるものにするように注意するとのことでした。

### 参加者の感想



◆わが子が軽度の知的障害と診断され、まだかなり戸惑いや信じられないという所がありますが、素直に受け止めたいと思いました。今、就学について迷っています。今日参加して、いろいろな年令の方と出会い、いろいろな症状があることを知りました。どの年令になっても、親はずっと考え悩み続けるものだなと実感しました。まだ5才の子どもにも、物事に始まりと終わりがあり、本人にも終わりを意識させ、私も納得いくまで子どもの声を聞いてあげたいと思いました。

◆ヘルプシートは本人が作るということですが、なかなか文章力がないので本人と協力しながら作成してみようと考えています。就労の時に使えたらと思っています。うちの子は時間を意識することが難しいので、タイムテーブルを使うことで一日の流れが分かるので、これも作成してみようと思います。

◆年齢的に思秋期真っ只中です。生活習慣や身の回りの整理・整頓ができないので、毎日注意しては親子喧嘩になっています。しかし、大きくなってきて「そのやり方わからないから教えて(説明して)」と言えるようになりました。そこで親は“気付き”マニュアルを伝え説明すればできるかとも思いました。そんな時期で、ヘルプシートを作って使って“戦い”をなくそうと思いました。

◆本人の特性や使う場面で、ヘルプシートの形式も違ってきますが、今日教えて頂いたことを土台にして、自分でも作成してみたいと思いました。就労場面での具体的なお話をたくさん聞くことができました。就職まであと少し、身の引き締まる思いです。

## 9月・例会に参加して

9月25日(土)に、東京都多摩社会教育会館で例会が開催されました。

いつもの例会ですと、午前中の相談会から盛況で、人の出入りもあり、午後の例会始まりの時間は、あわただしい雰囲気なのですが・・・この時期、運動会だから？猛暑の疲れが出た？ということで出席者15人位の落ち着いた例会となりました。

各係り、各部それぞれの報告の後、お二人の方が体験談をお話して下さいました。お一人は、お子さんが中学生になるまでの大変だった道のりを、様々なエピソードを交えながら、丁寧にたどっていらっしゃいました。理解のある先生に恵まれなかったという経験から、先生方も発達障害について正しい知識を持って欲しい、また、学校も含めて社会全般に発達障害についての正しい理解が広まって欲しいとの意見に、聞いている方たちも皆大きく頷いておられました。

もうお一人は、お子さんは社会に出て10年以上とのことで、学齢期で役に立ったことから、仕事や社会人としての生活の中で気付いたこと等、これから多くの人たちが辿る道での大事なポイントを話して下さいました。その中で「家庭教育は最大の一生の宝物」という言葉が印象に残ったのですが、これは本当にずっしり心に響きました。正解はないけれど、よりよい方向はあるはず。うちもですが、年令が上がるとどんどんむずかしくなるので、自然に身に付くよう小さい頃からこつこつ繰り返すしかないのでしょうか。

その後は何人かの方がアドバイスということで、体験を話して下さいました。こうした様々な体験談から、自分の子に合った情報が得られるかもしれません。それは、親の会だからこそできることで、多くの方に聞いて欲しかったと思います。

Y.A

### 参加者の感想

- ◆将来起こり得る可能性の大きい話が聞けてありがたかった。
- ◆社会人になるために家庭でできる事前の準備として、とても役にたった。

### これからの例会で取り上げて欲しいこと

- ◇障害基礎年金など、公的手続きへの申請の方法や基本的知識。
- ◇子どもが自己理解していくにあたって、親のサポートの方法と技術。



## 就労部会

就労部会のメンバーは、働いている子を持つ親と学齢期の子を持つ親など、常時10人くらいのメンバーで、楽しく語り癒しになる活動もしています。

そのような中で、最近話題になった事は、会社から帰って、気になる事を言った時にどのようなアドバイスをすればいいか？働いている子どもとの距離のおき方など、微妙な内容になり、そのような話の中から、アドバイスを頂ける人に来ていただくと言う事になりました。このように、部会に参加する方の希望や悩みによって、今後を決めていくきめ細かい活動もしています。

今年度のはじめに企業や施設見学の希望が出されたことで、10月1日に千葉県で開設された、特例子会社や、NPO法人の作業所が同居する障害者福祉施設「浦安市ワークステーション」を訪問し、特例子会社の大東コーポレートサービスの新事業所の見学をさせて頂く事になりました。見学日は12月1日です。くわしくはチラシをご覧ください。

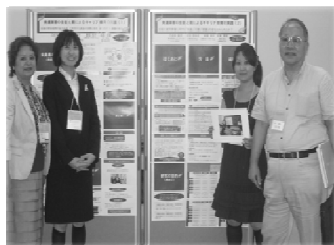
仲の良い関係が出来てきた就労部会です。  
子どもの年齢にかかわらず、気楽に参加してみてください。



就労部会代表・新堀(和)

## 日本職業リハビリテーション学会に参加して

8月26日、27日神奈川県立保健福祉大学に於いて、日本職業リハビリテーション学会が行われました。学会長である松為信雄教授の基調講演の後、人材育成・権利条約に分かれてシンポジウムが行われました。2日目には、国リハ研究員の寺田容子さん、ボランティアの庄司さんからWingのポスター発表をしていただき、企業や支援者に熱のある説明をして頂きました。お忙しい中、努力をして頂いただけあって、立派なポスターが出来上がりました。



こうした学会に参加することは、単に知識が増えるという事だけでなく、事例を通して、専門家の方々が発表する中には、私たちが日常直面する問題をどのように捉え、解決するためにはどのような考え方や手立てがあるのかのヒントももらえます。皆さんも、様々な学会に参加してみませんか？きっと考え方の幅が広がると思います。

N.K

## 教育部会



## つくし

今年度「教育部会」と「つくし」は、合同で話し合いの場を持ち活動しています。7月以降実施した話し合いを報告します。

◇7月24日は、東村山市教育センター相談員で、教育心理士・新谷博美さんにアドバイザーとしてご協力いただき、「わが子の理解と支え方 ～心理検査を通して～」と題して、実施しました。

◇9月17日は、学校での子どもの様子を話し合い、話し合われた内容を基に、「東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画（案）の骨子」に対する意見」として、話し合われた内容を、LD親の会「けやき」として鈴木さんより提出して頂きました。

◇次回の案内

日時 11月27日（土）10：00～12：30

場所 国分寺市国分寺労政会館（国分寺駅南口から徒歩3分ほど）

内容 心理検査の結果をどのように読み取り、子どもの状態をどう見立てればよいのかを、教育心理士の新谷さんにお話しいただきながら、参加者みんなで考えていくことにしています。



子どもたちの近い将来の自立にむけ、

大事な根っこを作る、幼児・小学・中学時代。

是非、ご一緒に考えていきませんか。

教育部会代表・小形

つくし代表・瀧澤

「つくし」は、就学前後の子どもを育てている親たちが「いま必要としている問題点を具体的な話しの中から考えていく」おしゃべりの場として立ち上げた自主グループです。

## ■自主グループ報告■

### ポーレポーレ

ポーレポーレは、ボランティアの方と活動リーダーを中心に、毎月第2日曜日を基本日として活動しています。

#### ◇4月11日(日)・立川シネマシティー

集合時間と場所を決め、「アバター」と「ドラえもん」の2チームに分かれ映画鑑賞。その後、昼食を食べにラーメンスクエアへ行きました。

#### ◇5月9日(日)・国立市福祉会館集会室

活動計画の話し合い。DS、Wii、UNOなどをして皆で楽しみました。

#### ◇6月13日(日)・国立市福祉会館集会室

近況報告、7月・8月活動の詰めの話し合い。UNOなど皆でゲーム。

#### ◇7月11日(日)・西武ドーム

野球観戦。西武対楽天の試合を見ました。

#### ◇8月14日(日)・山梨県甲府方面

電車で日帰りツアー。天候は曇り空。暑くなりすぎず、この季節としては、すごしやすかったです。甲府城から見た景色は見事でした。甲府の人は盆地に住んでいるのだと実感しました。昼はほうとうを食べました。ほうとうで有名なお店に入り、熱々のものをいただきました。



その後、武田神社、お土産を購入し、午後4時ごろに甲府を立ちました。往復とも各駅停車のゆったりとした旅。色々と話したのも思い出になりました。

#### ◇9月12日(日)・国立市公民館集会室

一ツ橋大学キャンパス内を散策。部屋に戻り、活動計画の話し合いをし、12月のボーリング大会・カラオケの予約。皆でUNOをして楽しみました。

#### ◇10月10日(日)・お台場ジョイポリス

ゆりかもめのお台場海浜公園駅に集合。早速、館内に入り、謎解きゲームやクイズショーなどを楽しみました。その時々でグループを作ったり個人で行動したりなど、臨機応変で楽しく活動をしました。

次回は11月14日(日)午前9時30分から国立でおでんパーティーの予定です。

S.H

## キャリア教育講座 Wing

神奈川県立保健福祉大学の松為教授にご指導いただきながら、親が中心になってプログラム作成と実証を目的に活動をしています。毎月1回の日曜午後の講座には、中学生1人、高校生7人、親13人、ボランティアさん8人の29人が会場に集まってきます。



今年は3年目になり、ボランティアさんも研究者、学校関係、企業関係、学生さんと幅広い方々に協力していただき、一層充実した講座内容になってきました。現在、中学3年生からの募集ですがそれ以下の年齢の子どもを持つ親も一緒に学び、役割を受け持つことで講座に対する理解を深めています。



8月の企業見学では、見学のお礼をしっかりと伝える事が出来、その場にいた私たちが、椅子から落ちるほどの驚きだったという事もありました。本当は大きな力があるのに「当たり前の事が、当たり前に出れない子ども達」と思いこんでいる事もあるのではないかと改めて思います。

夏の合宿も、楽しく子ども達の輪が出来る為の大切な恒例の行事となりました。また、毎月の講師の方々が必要に応じて作成されるワークシートは、とても有効でメモが取れないと言われていた子も少しずつ書けるようになってきたようです。



こうして、子どもも私たちに発達障害とは…という事を教えてくれて、私たち大人は、それを受けながら子どもに場を提供する事を頑張っているという現状です。こんな関係どこにもないなあ・・・と私自身楽しく学んでいますし、ボランティアさんも、「子供たちとのふれあいが楽しいから参加するのよ」と言ってくれています。



【8ページへつづく】

## ■自主グループ報告・Wing■

### 【7ページからのつづき】



先日の「先輩の話」では、生活の事や仕事の事を聞き、先輩の声は受講者はもちろんのこと、親にもボランティアさんにも勉強になった事と思います。

このように、親子で受けることで親の知識も増え、親支援にもなるという事が大切だという事も分かってきました・・・が・・・そこで今後の課題です。

この講座を受けている方は、会員になってから日の浅い方も多く、まだお互いを深く分かりあうという関係にはなっていません。そのために、講座を受ける立場から企画する立場になりにくい事もあります。

今後は、より一層積極的にかかわるという姿勢が必要だと思いますし、その事によってよりよい関係が出来、更に充実した内容に変わっていくでしょう。また、社会に出るまでのこの何年間は、非常に重要だという事を考え、家庭教育との連携も欠かせない要素になっています。

講座を受けるだけでなく、家庭生活とどのように結び付けていくか？課題は尽きません。



学齢期に自分の人生を考える、自己理解、仕事って何？マナーとは？一つずつ丁寧に学ぶ場を与えられることは、就職だけでなく、仕事の継続や転職にも大いに役立つ事と感じ、講座を続けています。

Wingは職リハ学会で、ボランティアさん（庄司さん・寺田さん）のお二人に発表していただきました。

また、LD学会においても自主シンポジウム・ポスター発表などに参加して来ました。

松為先生はじめ、参加発表された寺田さん、庄司さん、前日（8日）の打ち合わせから11日の発表まで、本当に長い間、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。



Wing代表・新堀(和)



## 日本LD学会に参加して

10月9日(土)から11日(月)まで、愛知県立大学・長久手キャンパスにて日本LD学会第19回大会が行われました。

今年度の会場は名古屋駅から50分程かかりますが、リニアモーターカーの駅から大学までは近く、広いキャンパスに入ると「歓迎 ござらっせ」の垂れ幕が迎えてくれました。受付を済ませ、ポスターを預けに親の会会場へ挨拶もそこそこにWingの発表をする自主シンポへ向かいましたが、後で見に行きますと、それぞれの会で工夫されていて、楽しんで作成された様子が目に浮かぶようなポスターもあり、来年は皆で作りたいなと思いました。



さて、「けやき」の自主シンポ参加の報告をしましょう。テーマは「発達障害の児童・生徒に対する親の会における就労準備に向けた取り組み」～2つの先駆的なキャリア教育の取り組みの実際と今後の展望～ということで、所沢の「よつばくらぶ」さん(小学生からの3日間カフェ)とそれぞれの取り組みを紹介しました。その後、松為先生の進行で、就労支援センターのポーバルさん、国リハの寺田さんによる指定討論に入り質疑応答へ。途中で、50部の資料が足りなくなりあわてましたが、無事終了する事が出来ました。



2日目は、ポスター発表です。大会企画と重なって少しさみしい発表になりましたが、ポスター発表することで自主シンポを聞いて下さった方も来ていただき、意義のある発表になったと思います。

3日目は、「キャリア教育をより効果的に取り組む為の心理・医療分野からの提言」という事で、プログラムへの提言をして頂きました。

今年の学会は、就労関係も多くなってきた一方で、読み書き、算数、移行問題、海外の現状など発表内容の幅が広く、どれも興味はあるのですが、時間が重なって聞けない事も多くありました。(700ページの発表論文集を抱えてうろうろする場面も・・・?)

LD学会は学会長である上野一彦先生が、第1回から親もメンバーに入るというスタンスで、学会としては珍しく親に対して配慮されてきたものであります。

来年は9月17日(土)～19日(祝)跡見学園女子大学(東京都文京区)で行われます。

# 渉外関係報告

## I. 関東ブロック会議 (7月11日・13時～17時) バロール代々木1F「集会ルーム」

出席：内藤理事長 丹籐副理事長 吉田評議員 親の会11団体25名

<議事内容等>

### 1. 全国LD親の会からの活動報告

- 総会は無事終了、研修会(「家族支援～親の障害の受容」講師・中田洋二郎氏)も好評。
- 長野県LD等発達障害児者親の会「よつ葉の会」(会員30名)を正式会員として承認。

### 2. 事業実施に関する件

- 日本財団助成事業 サポートツール・データベース事業について(2年目)  
教材、教具、実証データの公募をし、審査後皆様に提供。教材・教具の開発、Weサイトの改良などを行っている。
- 研修会を実施  
サポートツール全国キャラバン2010「教材教具研修会」  
秋田(H22.5.30)・岐阜(H22.11.21)・徳島(H23.2.6)にて実施。  
来年度も日本財団に申請予定。申請時の計画は、23年度は北海道ブロック・北陸ブロック・関東ブロックにて、キャラバンを実施し関東ブロックを開催順の最後とする予定。共催につき「にじの会」から申し出があった。
- 文部科学省 民間組織・支援技術を活用した特別支援教育研究事業について  
今年度も文部科学省より委託を受け、渋谷区教育委員会の協力を得て特別支援教育支援員およびボランティアの養成を行う。
- 会員調査「教育から就業への移行実態調査Ⅲ」について  
6月19日速報版として報告。22年12月冊子として発行予定。
- LD等の発達障害のある人及び家族等の支援事業  
空白県対応として和歌山県LD等発達障害親の会が設立準備中で、平成23年4月に設立総会の予定。大分県でも設立の準備が始まっている。

### 3. ブロック制について

- 関東ブロックは、全国LD親の会の活動・情報を報告する役割を担っている。その情報を元に、地域での活動を活性化してもらう。

## II. 東京LD親の会連絡会

### 1. 「東京都特別支援教育推進計画第三次実施計画(案)の骨子」説明会

- 8月6日(金)東京LD親の会連絡会に参加している3会に対して、特別に説明会を開催していただいた。「けやき」からは3名が出席。

### 2. 東京都への要望書の提出

- 今年度も東京都に対する要望書を3会合同でまとめ、9月3日(金)に提出した。  
要望書に対する回答説明会は、10月25日(月)に開催される。

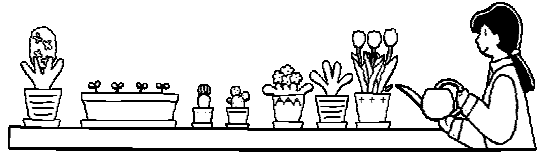
### 3. 就労支援機関のアンケート調査結果のまとめ作業

- 現在、昨年12月から本年2月にかけて訪問調査を実施した結果のまとめ作業を行っている。12月に作業完了の予定。

以上報告の詳細については、役員までお問い合わせください。

新堀(紘)

# 散歩道



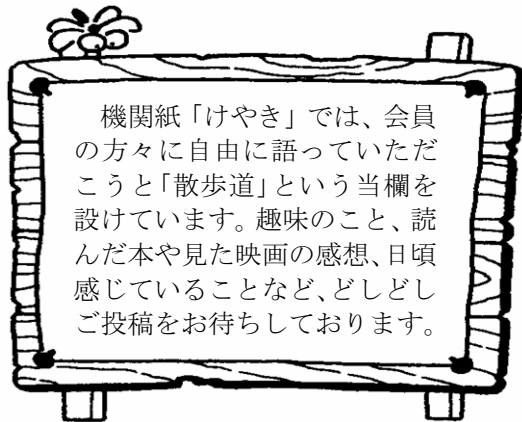
## ガーデニングの楽しみ

十年ほど前から鉢花を育てて楽しむようになりました。入院中の義父の病院へ通う道中の花屋さんで、一つ、また一つと鉢花を買い集めたのが始まりです。介護でうつむきがちな心を花たちが慰め、和ませてくれました。

最初は鉢花を買ってきて水をやるだけだったのですが、そのうち苗を植えて育てようになりました。自分で咲かせた花はかわいさもひとしお。すっかりガーデニングにはまり、鉢はどんどん増えて今では二百鉢はあると思います。水やり、花がらつみ、植え替えと毎日やることはたくさんあります。が、いやなことがあっても、庭に出て作業をしていると無心になり気持ちが穏やかになってきます。マイナスのエネルギーが抜けていくようなデトックス効果もガーデニングにはまる理由かもしれません。

好きな花は、ビオラ、ロベリア、ミリオンベルなど小さな花が次々に咲くもの。四・五年前からはバラの栽培にも挑戦中です。バラは消毒や施肥に手間がかかりますが、春の満開の時にはうっとり一年の苦労を忘れず。香りといい、姿といい、やはり花の女王様です。あちこちのバラ園を見に行く楽しみも増えました。

今年の猛暑は、人間だけでなく庭の植物も直撃しました。一日二回の水やりは苦行でしたが、じりじりするような日ざしの下で、黙って耐えている木や花の姿には何か教えられるものがありました。少し涼しくなると急に生き生きしてきて、枝や新芽を伸ばす様子には生命のたくましさを感じます。



機関紙「けやき」では、会員の方々に自由に語っていただく「散歩道」という当欄を設けています。趣味のこと、読んだ本や見た映画の感想、日頃感じていることなど、どしどしご投稿をお待ちしております。

植物を育てることは子育てにも通じる場所があります。植物は肥料や水をやりすぎると枯れてしまうし、風通しも必要。無理に伸ばすこともできません。毎日よく観察をして、何かあったら手当てをします。子どもも、よく見て、自分で育っていくこうとする力をうまく後押しできればいいなと思うこの頃です。

M.K

## 22年度 特別支援教育支援員養成講座 受講者募集のお知らせ

### 講座の種類

#### ①支援員コース（特別支援教育支援員コース）

特別支援教育支援員として、学校長や担任教諭の指示の下で、発達障害等の障害のある幼児児童生徒に対する介助、保護者等に対する相談支援が行える者の養成

#### ②学習支援員コース（特別支援教育総合支援員コース）

特別支援教育支援員として、学校長や担任教諭の指示の下で、発達障害等の障害のある幼児・児童生徒に対する介助、学習支援、保護者に対する相談支援が行える者の養成

#### 本件に関する問い合わせ先【応募は11月10日(水)まで】

特定非営利活動法人 全国LD親の会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木2-26-5 バロール代々木415

電話/FAX : 03-6276-8985

E-mail : jimukyoku@jpald.net

HP : <http://www.jpald.net/>

## 11月例会のご案内

◇日時 11月27日(土)

13時30分～16時45分

◇会場 国分寺労政会館・第2会議室  
(JR中央線 国分寺駅南口 徒歩5分)

◇内容 講演会

: テーマ

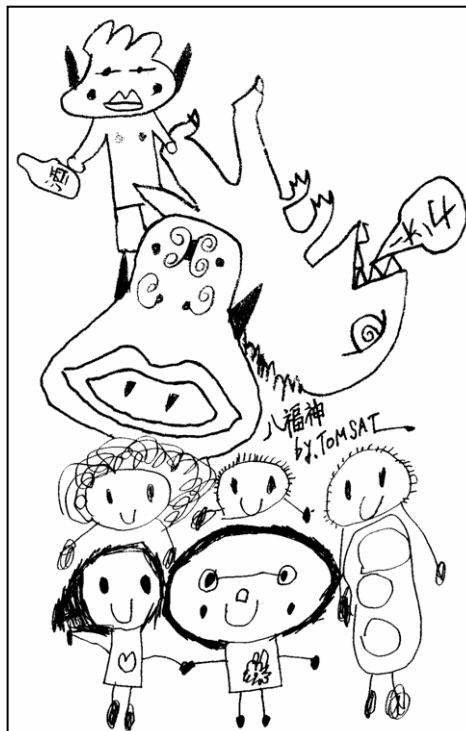
「集団の中で育てにくい  
子どもの支援について」  
～保育に携わる方々と保護者が  
理解しあうために～

: 講師 芹澤 清音先生  
(帝京大学教育学部准教授)

今回は、保育園や小学校で発達相談の活動をされている芹澤先生をお迎えし、上記のテーマで講演会を行います。是非ご参加ください。

お忙しい中、機関紙のために原稿をお寄せ下さった方々にお礼申し上げます。  
ありがとうございました。 編集・K.M

## けやき アートギャラリー



本田さんの息子さん娘さんによる共同作品です